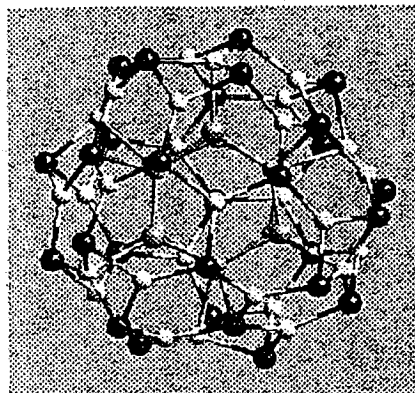


2004年(平成16年)2月13日(金曜日)

球状ナノ分子



2種類の元素で形成

東北大が成功、定説覆す

東北大学の粕谷厚生、モデルを作った。

川添良幸両教授らは、カドミウムとセレンという二種類の元素がカゴ状に組み合わさった直径約一ナノ(ナは十億分の一)の球状分子の構造を二種類の元素の球状分子は従来、二種類の元

素では存在しないと考えられていた。

今回できた材料以外にも、新しい機能を持ったナノ材料が生まれる可能性が出てきた。

開発した分子はカドミウムとセレンが三十四個

ずつでできている。界面

活性剤で作った中空構造

を「鑄型」にして物質が

自然に集まる自己組織化

現象を利用して作った。

発光素子や、可視光で効

果的に働く光触媒として

利用できそうだという。